

# SPORTS CONVENTION

## 読谷のウトイムチ 読谷村スポーツコンベンション

読谷村では、平成30年に策定された『読谷村ゆたかむらビジョン』の重点施策を踏まえ、「スポーツキャンプ地 読谷村」が新たなブランドとなるよう国内外に幅広くPRするとともにキャンプ誘致ならびに誘客を通して観光振興や地域活性化に取り組んでいます。

近年では野球やサッカーをはじめ、ソフトボールやラグビー、陸上競技といった多様な種目のキャンプが読谷村で行われています。その理由として、練習施設の充実はもちろんのこと、練習場と近距離にある宿泊施設の便利さ、練習のない日には村内の自然や観光施設でリフレッシュできるなど、キャンプに集中しやすい環境が整っていることが要因となっています。また、受け入れを行うにあたり、行政をはじめ、商工会や観光協会、各種スポーツ団体で構成された「読谷村スポーツコンベンション受入協力会」を中心とした「よみたん流おもてなし」も高い評価を受けています。

スポーツコンベンションが地域へもたらす効果は、経済、施設整備（インフラ）のみならず、読谷村の魅力が県内外、国外に発信されることや、トップ選手が行うスポーツ教室や地域交流を通して、競技力向上や人材育成につながるもことが期待されます。



読谷村陸上競技場



オキハム読谷平和の森球場

## 中日ドラゴンズ(野球)

プロ野球春季キャンプにおいて、本村は長年にわたり、中日ドラゴンズ2軍キャンプを受け入れています。毎年キャンプ時期の2月は多くのファンや関係者で球場を中心に賑わいを見せ、プロ野球選手と子供たちが触れ合える「給食交流」や「野球教室」を企画し、チームと村民の地域交流を図っています。



## サッカー / ラグビー



本村は芝フィールド（ZANPA Premium Naha Beach Ball Park、読谷村陸上競技場）が2面あるため、複数のチームを同時期に受け入れることが可能となっています。サッカーにおいてもJリーグのサガン鳥栖やヴィッセル神戸、ラグビートップリーグ所属チームも多く受け入れています。2019年開催のラグビーワールドカップ2019日本大会では公認チームキャンプ地としてアメリカ代表を受け入れ、2020年東京オリンピックでは7人制ラグビーニュージーランド代表の事前キャンプ地として受け入れを予定しています。



## ソフトボール

女子ソフトボール日本代表や日本女子ソフトボールリーグ所属チームなどがキャンプを行います。オキハム読谷平和の森球場や読谷村運動広場などで練習を行い、村内中学校のソフトボール部向けに教室を行うなど、地域交流や競技力向上にも寄与しています。



## 陸上競技



読谷村陸上競技場ではパラ陸上選手や学生陸上部などがキャンプを行い、日本代表など世界トップレベルのパラ陸上選手もキャンプを行っています。